

ようこそ先輩

豊橋市立松葉小学校

PTA 広報部

令和6年度

NO.4

6月20日(木)

子どもたちが楽しみにしていたようこそ先輩が行われました。ようこそ先輩とは外部の先生を学校にお招きし、さまざまなジャンルのことを教えてもらうクラブ活動で、4～6年生が参加します。

子どもたちは12個のクラブの中から事前に興味のあるものを選び、1つのクラブに参加します。中には人気が集中してしまったクラブもあったようですが、譲り合ったり話し合ったりして決めました。それぞれのクラブを紹介します。



花のある暮らし～生け花

今回のテーマはキャラママづくり。ブルームママという菊を使って、動物に見立てたフラワーアレンジメントを楽しみました。



子どもたちは、先生の見本を見て「かわいいー！」と大興奮。まずはデッサンをして生け花のイメージづくり。それぞれイメージを膨らませて自由に動物を作っていました。

講師の先生から

いろいろなアイデアで大人も子どもも楽しめるものです。お花が好きな子が多く、興味津々でやってくれました。

難しかったけれどすごくかわいくできてうれしかった。またやってみたい。きれいな花を使うことができてうれしい。

火起こし・煮炊きを楽しもう！

一斗缶に新聞紙や小枝を入れて、マッチで火起こしをし、うちわなどで仰いで火を燃やしました。飯盒に水を入れてお湯を沸かし、そのお湯でカップラーメンを作ってみんなで食べました。



火を扱うため、説明のときから真剣な表情で話を聞いていました。火をつけた後は「暑い、暑い！」と言いながら下からうちわであおいだり、枝を入れたりしていました。お湯が沸いたかどうかはトングでチェック！みんなでお食べるカップラーメンはおいしそうでした。

講師の先生から

子どもたちが楽しそうにやっていたよかったです。やはり人間は火を見るとテンションがあがるね。

楽しいけれど暑い！初めての火起こしだったけれど、みんなやさしく接してくれて楽しかった。準備が大変だったけれど、やってみると楽しい。火の調整をするのが難しかった。まきの大さを考えた。みんなでおカップラーメンを食べられておいしかった。

バスケットボールを楽しむ

フェニックスの元選手(愛称かげっち)に、バスケットの楽しさを教えてもらいました。2人1組で遊びのようなアップから始まり、シュートゲームやかげっちとの1対5のゲームもしていました。



実際にかげっちがシュートを見せてくれたり、ゲームの相手をしてくれたりしていたので、子どもたちも大興奮！全力で動き、汗だくになっていました。かげっちも全力で応えてくれて、楽しい時間を過ごしていました。

講師の先生から

みんな積極的にやってくれて、とても上手だった。たくさん動いたので疲れたけれど、楽しかった。

かげっちと対戦したのが楽しかった。チームで作戦を立てた。ボールを回してシュートを決められたのでうれしかった。シュートの仕方など丁寧に教えてくれて、バスケットが楽しいと思えるようになった。

プログラミングにチャレンジ(初級)

Microsoft MakeCode というソフトを使って、横スクロールアクションゲーム作りにチャレンジ！先生もキャラクターの動きを現実世界の重力に例えて説明していて子どもたちにイメージが付きやすいようにしていました。



どんどんいいゲームになっていくところが楽しくて好き。
初めてやったけれど、ゲームを自分で作るのが楽しかった。



プログラミングに慣れてきている子もいて、子どもたち同士でも教えあってわいわいとにぎやかな雰囲気でした。うまくいかないと先生に助けを求めたりして1人ひとつのゲームを作り上げていました。できあがったゲームはお互いにプレイして楽しんでいました。

講師の先生から

アレンジができるので、1つとして同じゲームにはならないのがよい。
みんな集中していた。

スクラッチプログラミングでゲーム作りにチャレンジ(中級)

スクラッチというソフトを使って、ゲーム作りをしました。まずは大きなプロジェクターを使ってブロックの組み方を教えてもらいました。1人ひとつパソコンを使い、ゲームの要素を教えてもらい実際にブロックを組み立ててピンポンゲームを作りました。



わからないことは隣の友達に聞きながら楽しく作っていました。オリジナルの要素で、笑い声を入れたり、猫のキャラクターをぐるぐるまわしたりして、友達に見せて楽しむ姿もありました。

講師の先生から

子どもたちのアイデアから、こちらでも勉強させてもらうつもりでやらせていただきました。

自分でプログラムを組んで、実際に動くのが楽しかった。
動きを決めるのが複雑で難しかった。設定することが意外と多くて大変だった。
家でもやりたいからスクラッチをダウンロードしてほしいと思った。

豊橋の伝統凧について学ぼう

豊橋伝統の凧を紹介してもらい、8種類の中から自分で好きなたこを選び作りました。凧ができたら校庭で実際に揚げて遊びました。



大きな凧を前に先生に「自分で作ったの？」と聞いて興味津々！作るときには、細いひごに丁寧にボンドを塗るなど、真剣に取り組んでいました。できあがった凧をもって校庭に出ると、友達と「せーの！」で走って一生懸命、凧をあげていました。

講師の先生から

なかなか伝えるのが難しいが、どの子も凧を作ることができてよかった。

ひごをぴったり合わせるのが難しかった。しっぽを貼るときに空気をめくのが大変だった。たこがあがると楽しいけれど、あがらないとたくさん走らないといけないから疲れた。

将棋

将棋のルールを知っている子はさっそく対戦！ルールを知らなくても、先生が駒の動かし方を丁寧に教えてくれていました。対戦相手を変えながら、何局も対戦していました。



将棋を習っている子や久しぶりにやる子などレベルはさまざま。対戦中は少し考えながら「これってできるよね？」など確認しながら進めていました。ほかの対戦を見ながら「この手がうまかった！」などと言い合う姿もありました。

講師の先生から

初心者の子たちに教えるのがいちばん楽しいです。

去年も将棋をやったけれど、その時よりはルールもわかったのでいい勝負ができた。中盤まで優勢だったのに、夢中になっているうちに二歩(反則負け)になってしまい悔しかった。

ストリートダンス

最初はストリートダンスの歴史を学びました。その後、先生の動きを真似して実際に動いてみました。体幹を鍛えるダンスや16ビート、ダウン、アップ、ランニングマンなどさまざまな動きを教えてくださいました。



最初の説明のときには、真剣に話を聞いていました。先生の話にときおり笑みもこぼれていました。体幹を鍛えるダンスでは、ふだん使わない筋肉を使うのか、足がプルプルとしてしまう子も！にこにこしながら顔を見合わせて踊る様子が見られました。

講師の先生から
積極的に参加してくれてよかった。
みんな上手でした。

今回2回目だったので、動きはうまくやることができたけれど、すごく疲れた！！前にダンスを習っていて、興味があったので選びました。

こま 独楽作り

大中小の白い独楽に自分の好きな色を塗って、オリジナルの独楽を作りました。できあがった独楽を使い、回っている独楽の色あてクイズ大会や、独楽回し大会をしました。



独楽を手にするのとさっそく回して遊ぶ子もいました。何色に塗るときれいか確認しながら、真剣な顔つきで塗っていました。独楽を回したままペンを当てて色を塗る子もいました。先生に回し方を教えてもらって、独楽回し大会は大盛り上がりでした。

講師の先生から
子どもたちと楽しく活動できたので、またやりたいです。

回すと思っていたのと違う色になっておもしろい。きれいに回せたり、きれいな色になったりすると楽しい。回したときに思ったより色がついていないときもあった。

お菓子づくり

マッターホーンのかたに、フルーツのカップケーキとモンブランを教えてもらいました。スポンジは焼いてきていただいてあったので、子どもたちはカップケーキをくりぬき、クリームやフルーツでデコレーションをしました。



先生の手本を真剣に見て、素敵にできあがったときには自然と拍手が沸き起こりました。一つの器具を順番に使ったり、アドバイスをしあったり、和気あいあいとした雰囲気でした。



講師の先生から

みんなてきぱきと行動していて、すごくはやくできたのもっと難しいこともできそう。次も楽しみです。

クリームを絞るのが難しかったけれど、上手に出来たときうれしかった。1つは失敗しちゃったけれど、2つ目は成功した！パティシエになった気分で楽しかった。スポンジがすごくおいしかった。

アートワーク 私の美術館を作ろう

絵画のカードが裏返しになっていて、その中から1枚を選び、好き？嫌い？など話しました。次にカードをすべて表に戻し、自分のカードと似ているカードを探し、どんなところが似ている？など話しました。その後、連想ゲームやカルタなどをして、最後にお気に入りの絵で自分だけの美術館を作りました。



友達の発表を聞いて「たしかに！」と反応するなど、どんどん言葉が出てきました。美術館づくりでは今日の体験をもとに、自分なりに似ている絵をつなげてみるなど、絵を見る力がついてきたように思います。

講師の先生から

美術館では絵のつながりなどを考えて展示しているので、実際美術館に行ったときにつながりを見つけられるようになってほしいという気持ちでこういうゲームをしています。



本当にこんな絵があるんだなとびっくりした。絵を見て、気持ち悪いかきれいとかいろいろな感情が生まれたので、また美術館に行って絵を見てみたいと思った。

化石の世界を知ろう

まずは石膏を使って、三葉虫・アンモナイト・水晶の中から好きな型を選んでレプリカづくりをしました。その後、化石のお話や実際に化石を触ってみたりして、化石の世界に親しみました。



レプリカを作るのが難しかったけれど、楽しかった。
本物の化石に触れてうれしかった。



子どもたちはレプリカづくりから楽しんでいました。石膏とは骨折したときのギプスと一緒にだよという話もしてくれて、少し身近に感じたようです。

講師の先生から

実際に化石を持ってきたので、やはり子どもの反応がよかった。本物に触れることが大切。

どのクラブでも、講師の先生がたが真剣に子どもたちに教えてくれており、子どもたちも真剣に取り組んでいました。講師の先生がたにお話を聞くと、「子どもたちが積極的だった」と言ってくださる先生が多かったです。今回学んだことを活かしたり、友達同士で伝え合ったりして、この経験を広げていってほしいなと思います。

ようこそ先輩は年に2回あり、次回は11月です！クラブを決めるときに、今回の記事も参考にしてみてくださいね！

